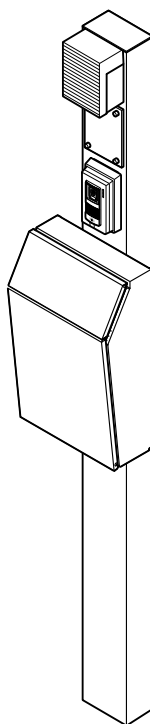


機能門柱

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・ 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・ 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

-  **お願い** ・ 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・ 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・ 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「各ページの右上」または「」を参照してください。

□ 施工の前に

⚠ 注意

- 前もって設置場所の確認を行ってください。給湯器、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

💡 お願い

- 前もって設置場所の確認を行ってください。給湯器、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

□ 施工上のご注意

⚠ 注意

- ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガの原因になります。
※M4ネジ: $2.5\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合には補修塗料で補修してください。

基礎工事について

注意

- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決められていますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートは、速やかに拭取ってください。

電気配線工事について

警告

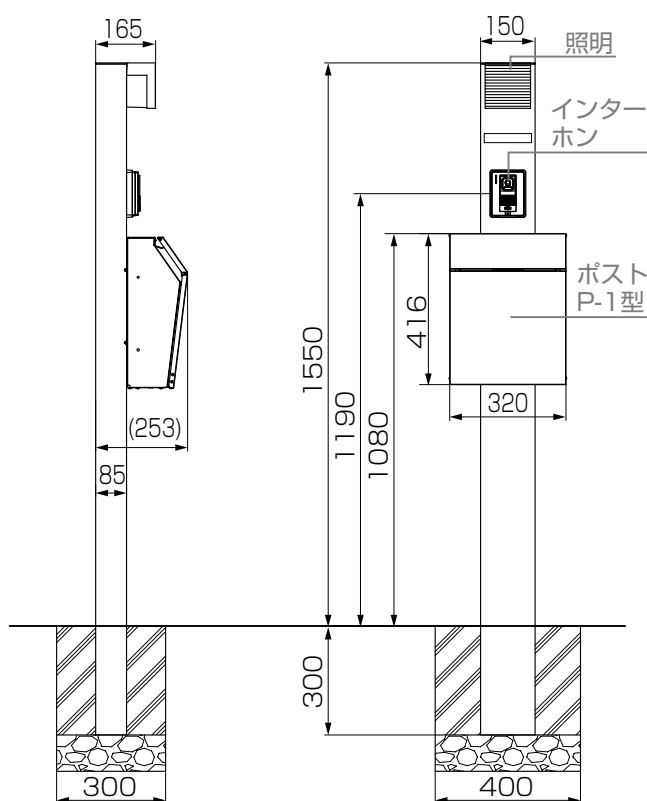
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100Vの照明器具は、D種接地工事を行なってください。
- 照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
- 照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線(アース線を含む)を、インターホン子機用信号はVCTF0.75mm²のより線またはφ1.0単線2芯を、準備してください。

お願い

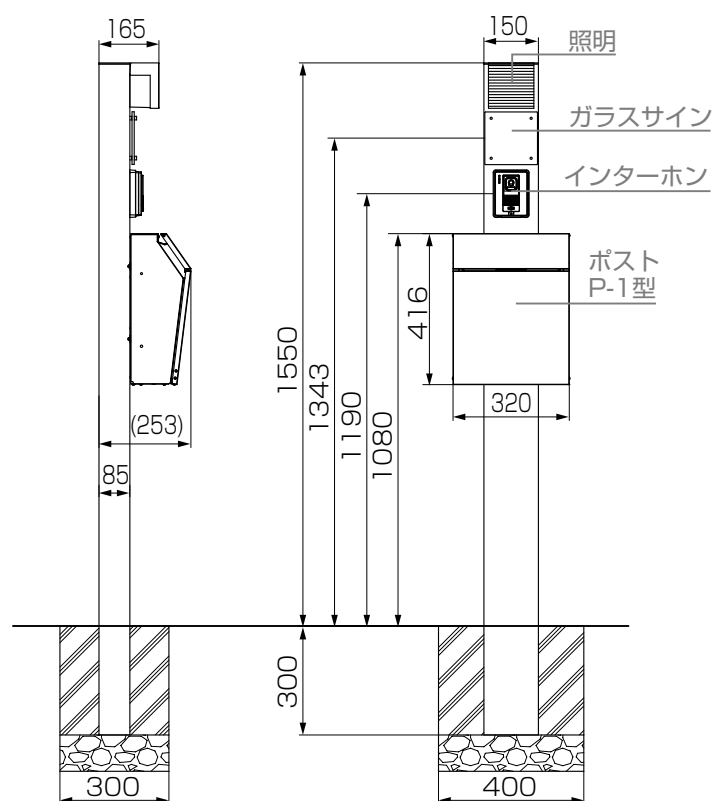
- 照明付きの場合には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
- 機器に接続する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。
- インターホン用配線に使用するY端子は、1.25-3を別途準備してください。
- 「入切スイッチ」にパイロットスイッチを使用すると、「入切スイッチ」をONにしても照明器具が消灯状態のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。

1 基本寸法と各部名称

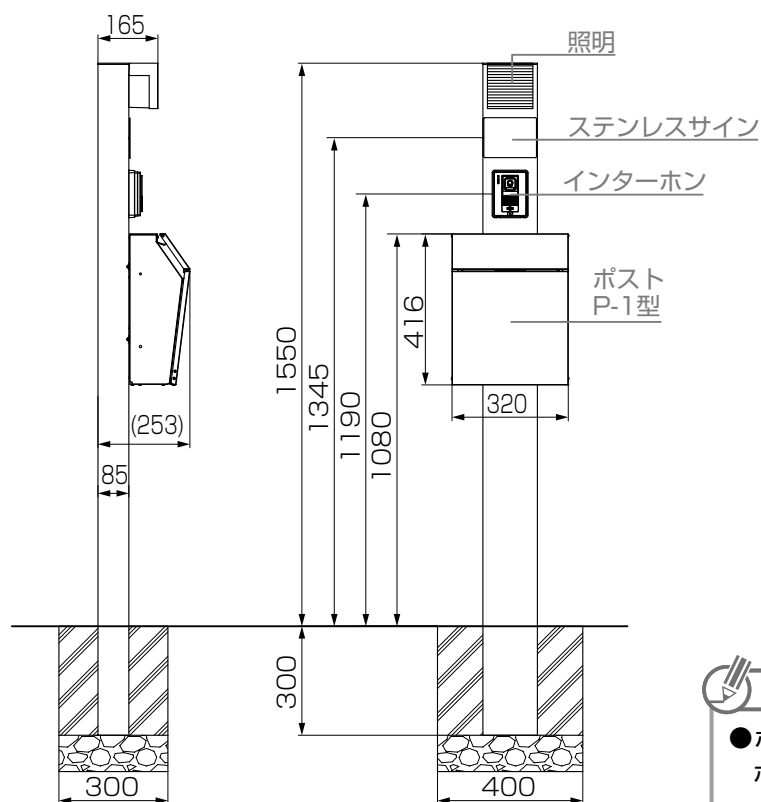
1-1 照明あり



【ネームシール】



【ガラスサイン】

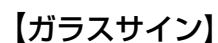


【ステンレスサイン】

補 足

●ポスト、サイン、インターホン位置は推奨寸法です。

1-2 照明なし



●ポスト、サイン、インターホン位置は推奨寸法です。

2 基礎工事と配線工事

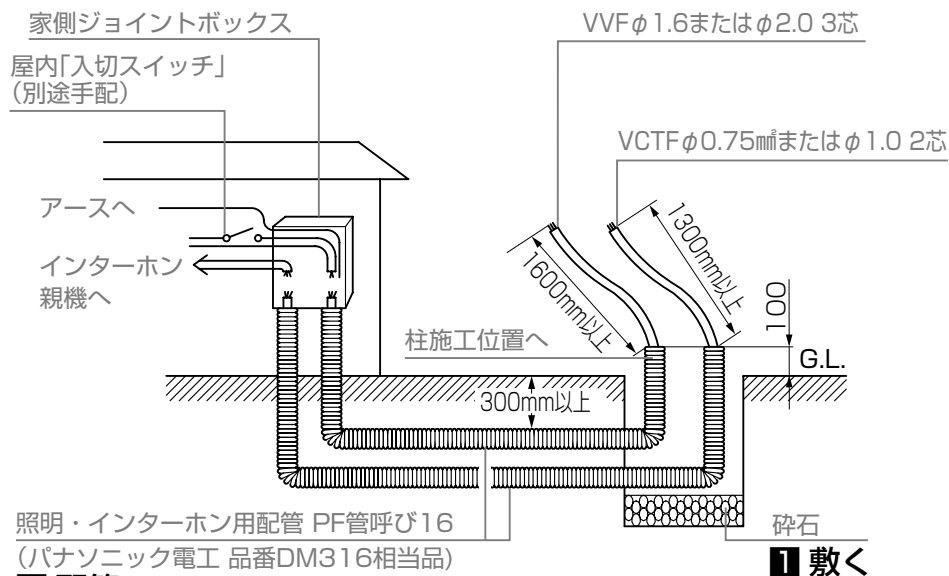
2-1 配線工事

1: 基礎穴を掘り、碎石を敷く

お願い

- 配管はG.L.より100mm程度立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできなくなります。

2: 照明およびインターホン子機用の配線を配管

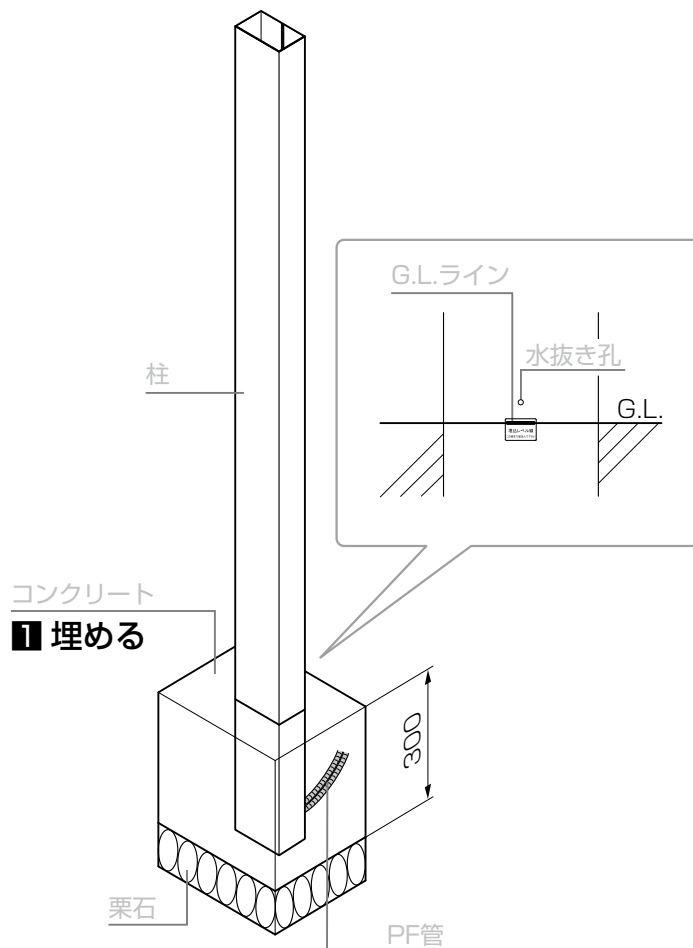


2-2 基礎工事

1: 柱を垂直に立て、柱背面のG.L.ラインまでコンクリートで埋める

お願い

- 照明とインターホン用の配管、配線は、柱内に納めてください。
- コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木などをしてください。
- 養生中は柱内部に雨水などが入らないようにしてください。
- 水抜き孔を埋めないようにしてください。

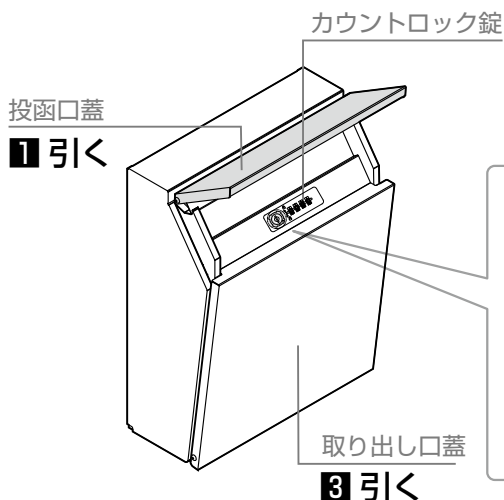


3 ポストの取付け

[1b]	M4×6トラス小ネジ	[1e]	M4ターンナット
[1c]	M4六角袋ナット		
[1d]	M4×20サラ小ネジ		

3-1 取り出し口の開閉について

- 1: 投函口蓋の端をもち、静かに手前に引く
- 2: カウントロック錠の数字を「0000」に合わせつまみを右に回す
- 3: 取り出し口蓋を手前に引く



補 足

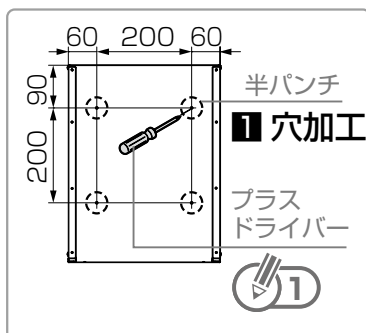
- 初期状態はカウントロック錠は「0000」に設定されています。番号を設定する場合は取扱説明書をご覧ください。
- 横型ポストP-1型の説明です。他のポストを取付ける場合は、各ポストに付属の取付説明書をご確認ください。

3-2 ポストの取付け

- 1: ポスト背面4ヶ所の半パンチに穴加工

補 足 1

- プラスドライバーをあて、ハンマーなどで叩いて穴加工をしてください。また、固くて穴が開けられない場合はドリルでφ5.5の穴加工をしてください。



- 2: 柱にφ8の穴加工

補 足 2

- 本紙巻末の加工指示書を、柱にあてがい穴位置をけがいてください。

- 3: ポスト取付部品を、柱に[1d][1e]で取付け

補 足 3

- [1e]を差込むときは、「M4」の表示を上にしてください。

- 4: ポストをポスト取付部品に、[1b][1c]で取付け

補 足

- ポスト取付部品の取付け位置は推奨寸法です。使いやすい任意の位置へ取付けてください。

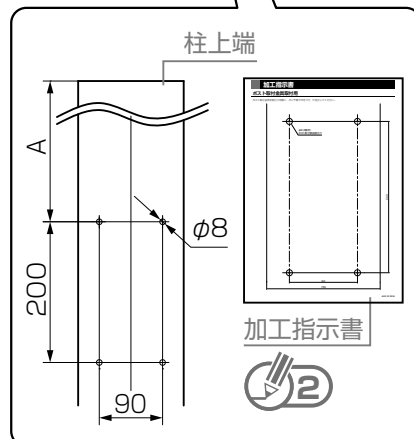
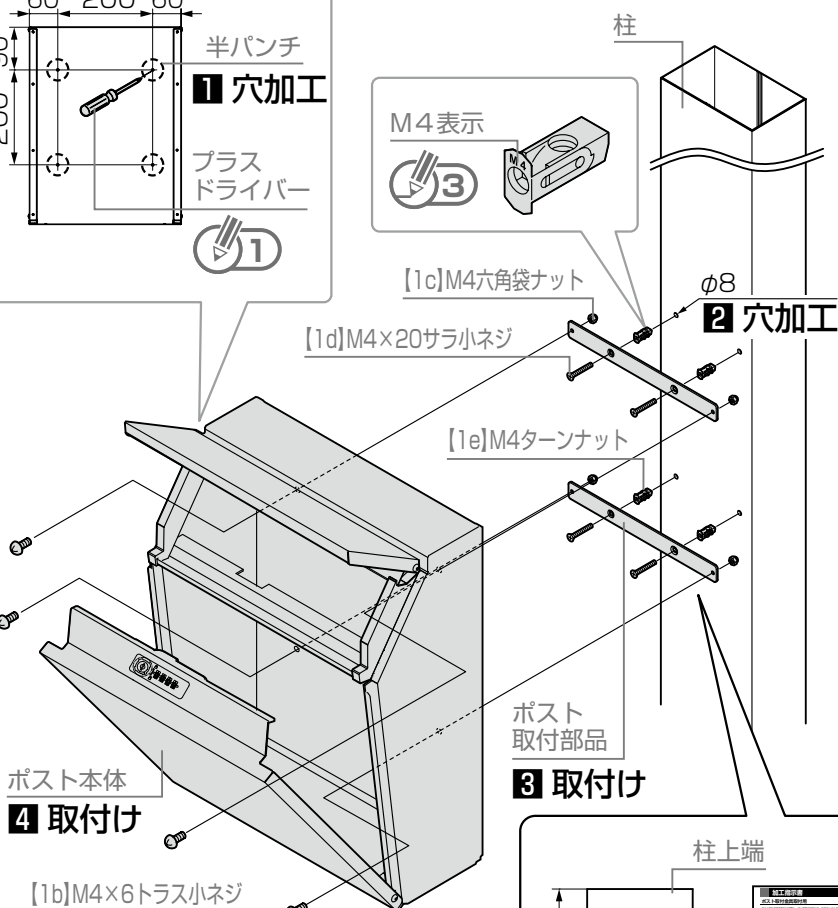
A寸法

横型ポストP-1型、アクシィ 横型ポスト、プレイン：557 (537)

フラット横型ポスト、グレイス：577 (557)

ネクストポストL-1型：602 (542)

() 内の寸法は照明を取付けない場合の寸法です。



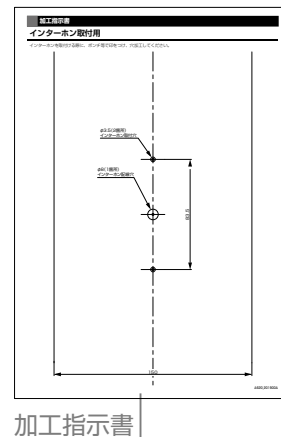
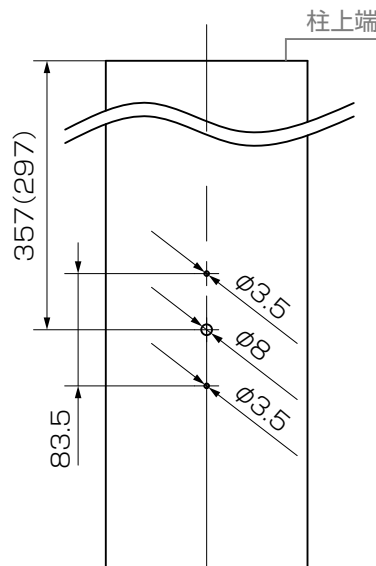
4 インターホンの取付け

[1a] $\phi 4 \times 10$ トラスタッピンネジ3種

4-1 インターホンの取付け

補 足

- 本紙巻末の加工指示書を、柱にあてがい穴位置をけがいてください。
- 柱上端からの寸法は推奨寸法です。他の部品と干渉しないように任意の位置に取付けてください。
- （ ）内寸法は、照明を取付けない場合の寸法です。



1: 柱に $\phi 8$ 、 $\phi 3.5$ の穴加工

2: ベースを、柱に【1a】で取付け

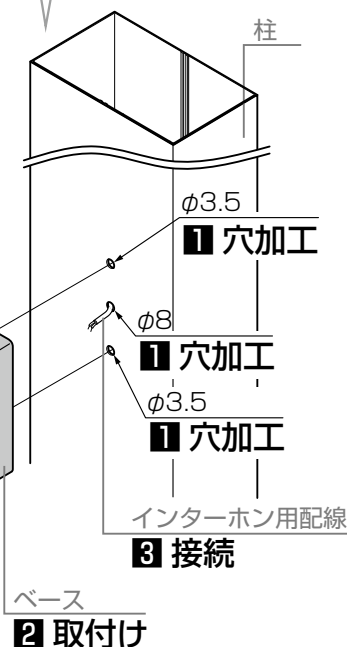
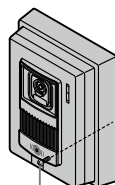
3: インターホン用配線の子機本体に接続

4: 子機本体をベースに取付け

【1a】 $\phi 4 \times 10$ トラスタッピンネジ3種

子機本体
4 取付け

子機本体取付ネジ



1 穴加工

1 穴加工

1 穴加工

インターホン用配線

3 接続

ベース
2 取付け

補 足

- インターホン取付け前にカメラ位置を調整してください。
- 配線の詳細およびインターホン子機の取付けについてはインターホン子機の取付説明書を参照してください。

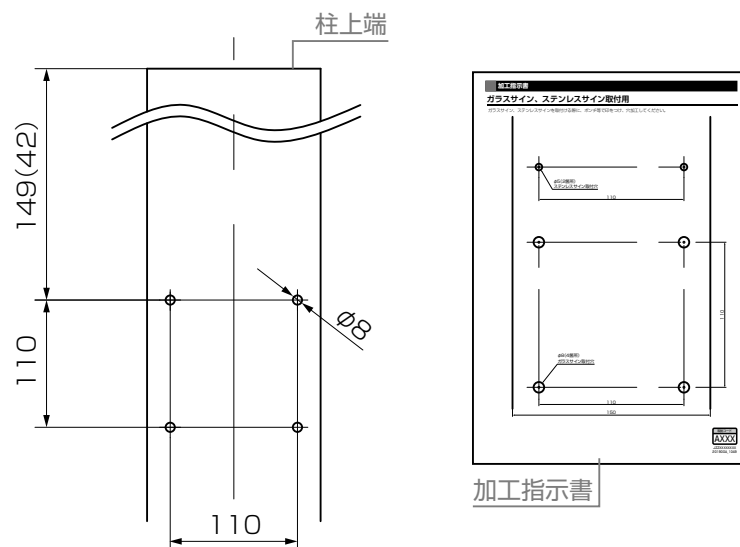
5 サインの取付け

[3a]	化粧ネジM4用	[3d]	M4ゴムワッシャー
[3b]	M4×40全ネジ	[3e]	ゴムスペーサー
[3c]	M4ターンナット		

5-1 ガラスサインの取付け

補 足

- 本紙巻末の加工指示書を、柱にあてがい穴位置をけがいてください。
- 柱上端からの寸法は推奨寸法です。他の部品と干渉しないように任意の位置に取付けてください。
- （ ）内寸法は、照明を取付けない場合の寸法です。



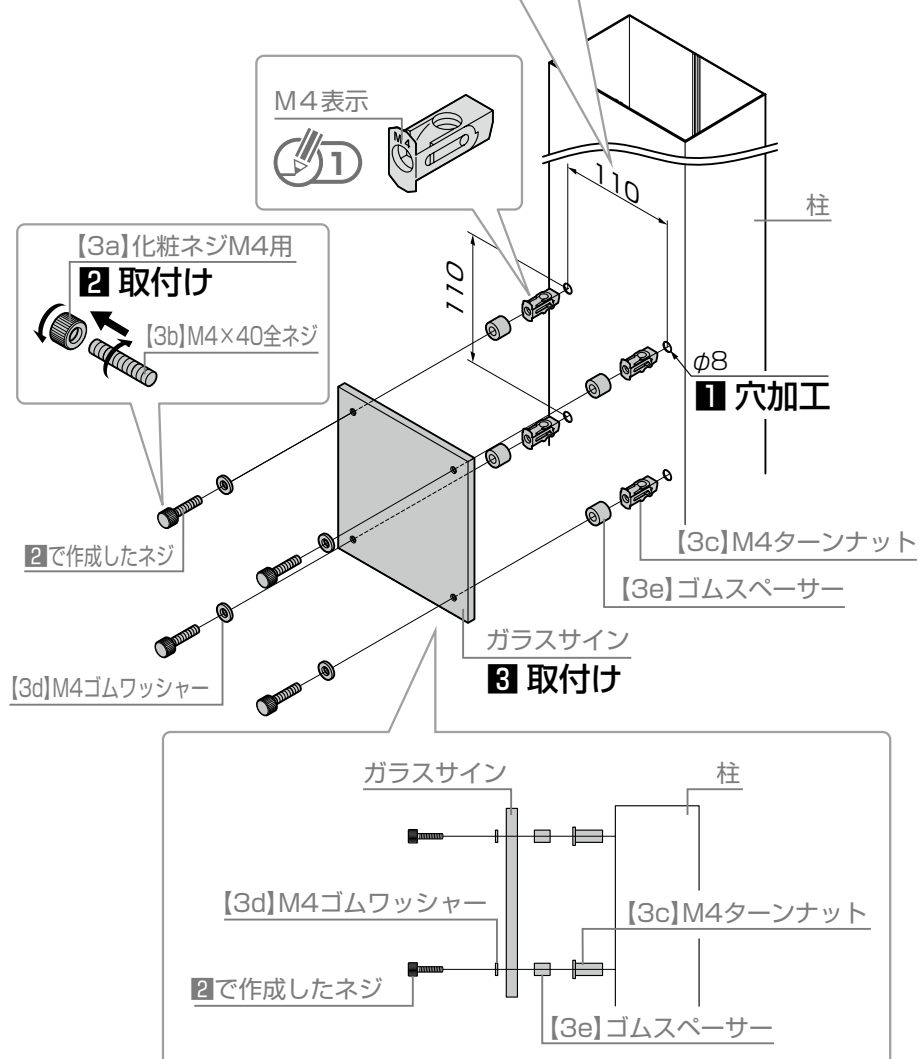
1: 柱にφ8の穴加工

2: [3a]に[3b]を取付け

3: ガラスサインを柱に2と[3c][3d][3e]で取付け

補 足 1

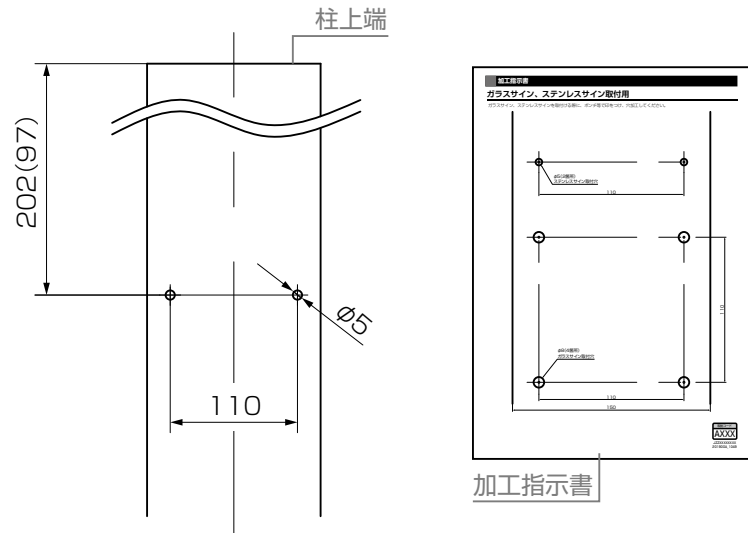
- [3c] を差込むときは、「M4」の表示を上にしてください。



5-2 ステンレスサインの取付け

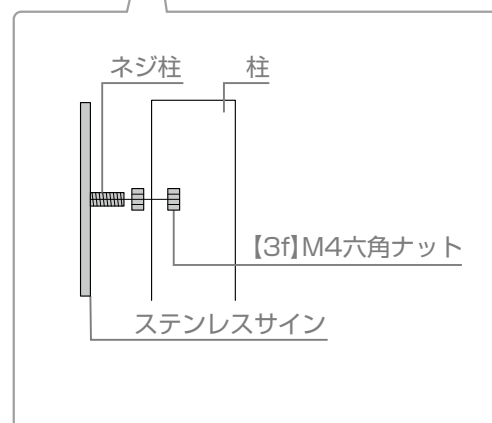
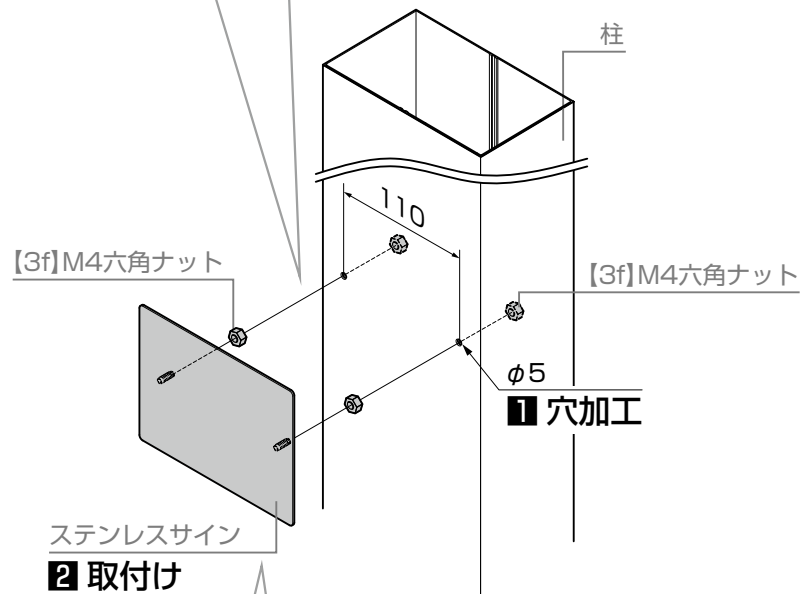
補 足

- 本紙巻末の加工指示書を、柱にあてがい穴位置をけがいてください。
- 柱上端からの寸法は推奨寸法です。他の部品と干渉しないように任意の位置に取付けてください。
- （ ）内寸法は、照明を取付けない場合の寸法です。



1: 柱に $\phi 5$ の穴加工

2: ステンレスサインを、柱に【3f】で取付け

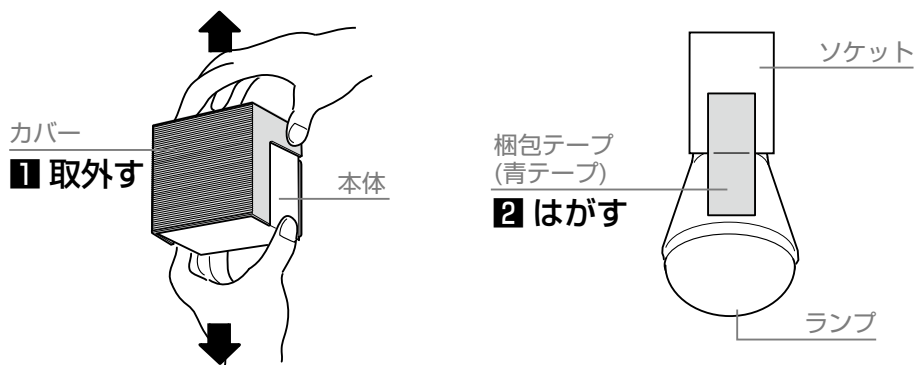


6 照明の取付け

【1e】	M4ターンナット
【1f】	φ4×30トラスタッピンネジ3種

6-1 取付け前の準備

- 1: 本体部とカバー部を別に持ち、カバーをスライドさせ取外す
- 2: ランプに貼ってある梱包テープ(青テープ)をはがす



6-2 本体の取付け

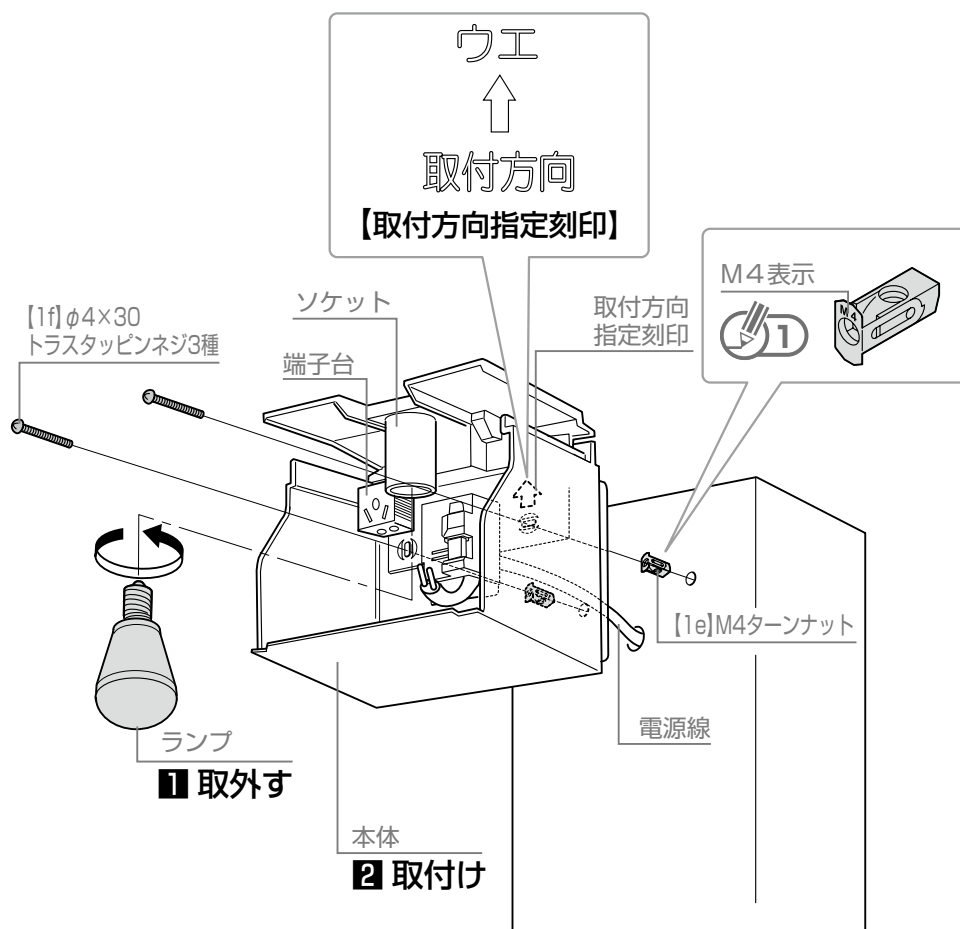
- 1: ソケットからランプを取外す
- 2: 本体を、柱に【1e】【1f】で取付け

注意

●必ず本体の「取付方向指示指定刻印」の向きに取付けてください。火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。

補足 1

●【1e】を差込むときは、「M4」の表示を上にしてください。



6 照明の取付け

6-3 電源線の接続

1: 電源線を端子台に接続

注意

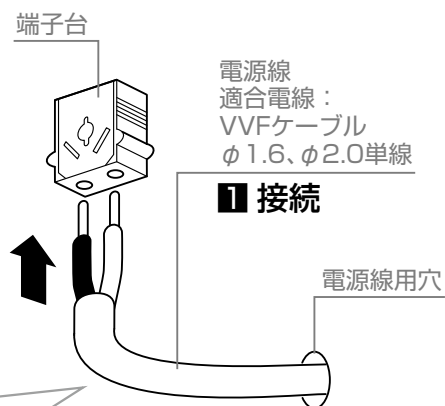
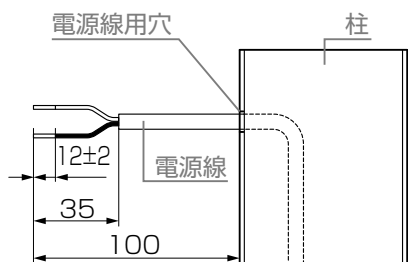
- 電源線はランプに触れないように取り回してください。火災、感電のおそれがあります。

お願い

- 電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用の場合、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。

補足

- 電源線用穴から電源線を100mm引き出してください。
- 外皮部を35mmムキ出してください。



6-4 ランプとカバーの取付け

1: ソケットにランプを取付け

2: カバーを本体に合わせて音がするまで押下げて取付け

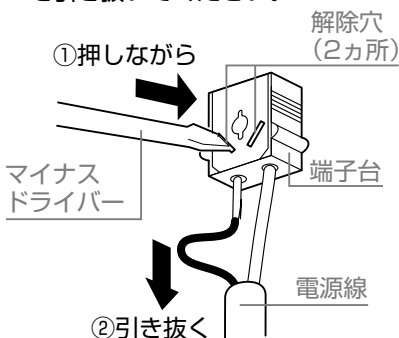
お願い

▼ カバーを外す場合 ▼

- カバーを真上に引き上げて外してください。

▼ 電源線を外す場合 ▼

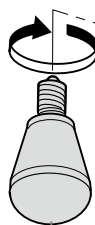
- マイナスドライバー等の先端で解除穴を押しながら片方ずつ電源線を引き抜いてください。



カバー

2 取付け

ソケット



1 取付け

本体

7 柱キャップの取付け

7-1 キャップ取付部材の取付位置

1: キャップ取付部材の取付位置を確認



補 足

- キャップ取付部材使用数は4個です。

キャップ取付部材
取付位置

1 確認

キャップ取付部材
取付位置

1 確認

6

柱

キャップ取付部材
取付位置

1 確認

キャップ取付部材
取付位置

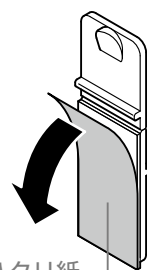
1 確認

6

7-2 キャップ取付部材の取付け

1: キャップ取付部材からハクリ紙をはがす

2: キャップ取付部材を支柱の内側に取付け



キャップ取付部材

ハクリ紙

1 はがす

キャップ
取付部材

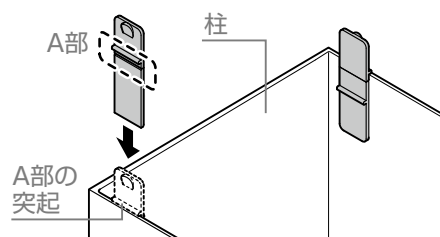
2 取付け

柱



お願い

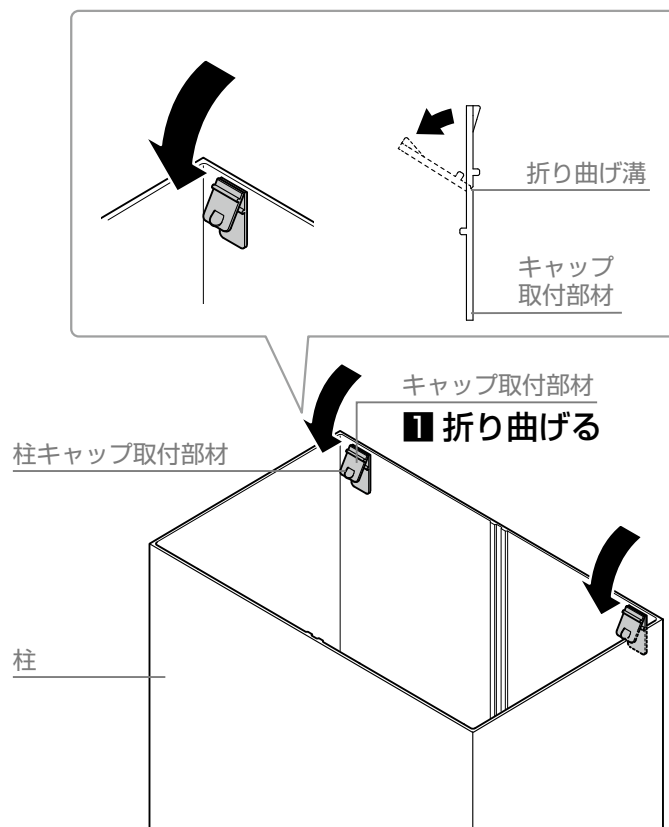
- 縦の位置はA部の突起が形材の小口に当たる位置にしてください。位置がズレると貼付かない場合があります。



7 柱キャップの取付け

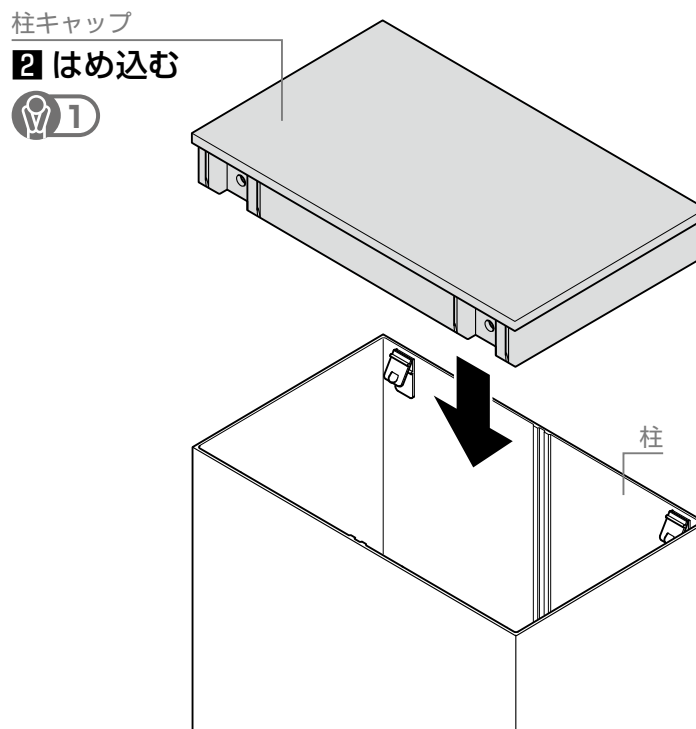
7-3 柱キャップの取付け

1: キャップ取付部材を折り曲げる



2: 柱キャップを柱にはめ込む

お願い 1
● 柱キャップは「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



7 柱キャップの取付け

7-4 柱キャップの取外し

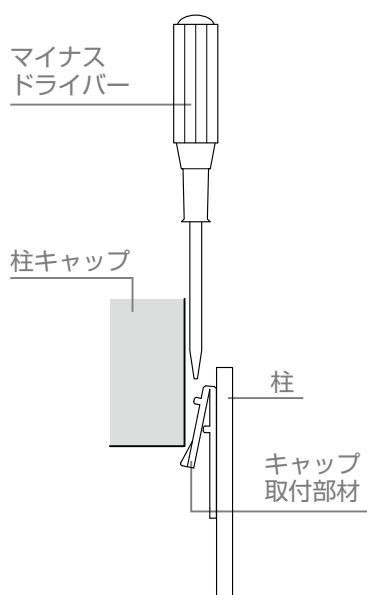
1: 柱キャップを浮き上がらせる

お願い

- キャップ取付部材を取付けた箇所の柱と柱キャップの間に、マイナスドライバー等の先の平らなものを差し込み、柱キャップを浮き上がらせてください。

補足

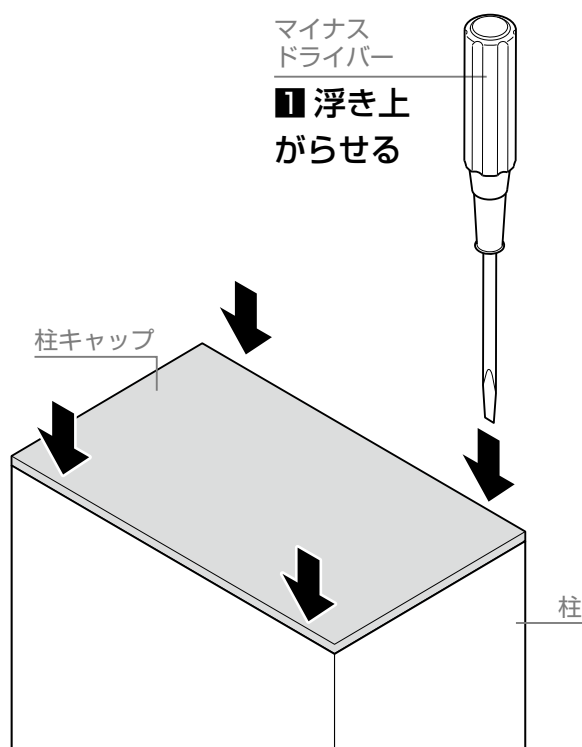
- キャップ取付部材の折り曲げた箇所を押すように差し込むと柱キャップが浮き上がり、外れます。



2: 柱キャップを外す

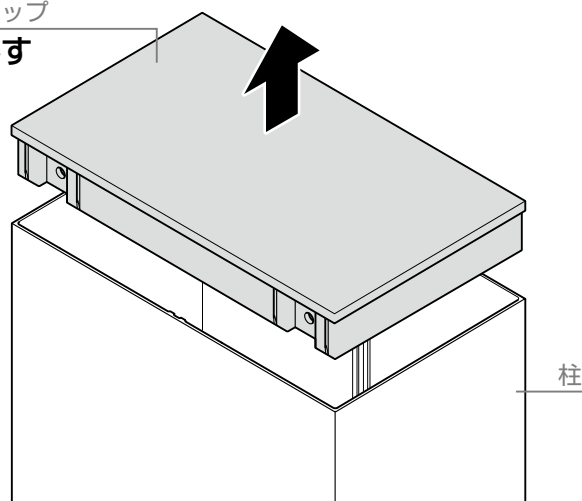
マイナス
ドライバー

1 浮き上
がらせる

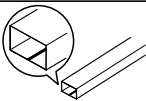
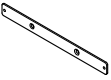
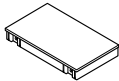
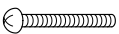


柱キャップ

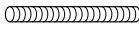
2 外す



梱包明細表

【1】 柱セット			
名 称	略 図	員 数	
		照明あり	照明なし
柱		1	1
照明		1	—
ネームシール		1	1
ポスト取付け部品		2	2
柱キャップ		1	1
柱キャップ取付部材		4	4
取付説明書	—	1	1
取扱説明書	—	1	1
【1a】φ4×10トラスタッピンネジ3種		2	2
【1b】M4×6トラス小ネジ		4	4
【1c】M4六角袋ナット		4	4
【1d】M4×20サラ小ネジ		4	4
【1e】M4ターンナット		6	4
【1f】φ4×30トラスタッピンネジ3種		2	—

【2】 ポスト		
名 称	略 図	員 数
ポスト		1
ポストキー		2

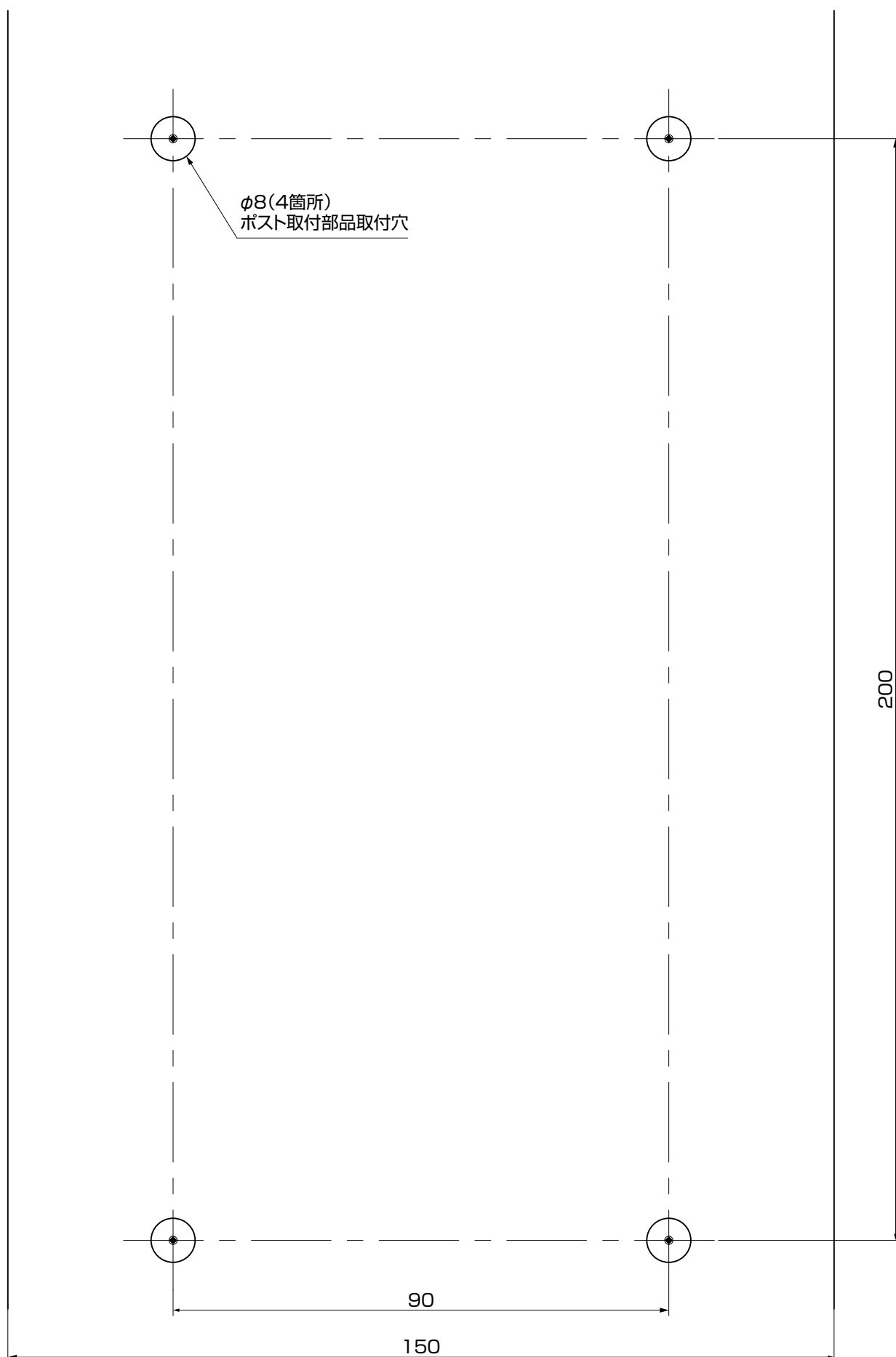
【3】 サイン			
名 称	略 図	員 数	
		ガラスサイン	ステンレスサイン
ガラスサイン		1	—
ステンレスサイン		—	1
ネームシール		2(※)	1
【3a】化粧ネジM4用		4	—
【3b】M4×40全ネジ		4	—
【3c】M4ターンナット		4	—
【3d】M4ゴムワッシャー		4	—
【3e】ゴムスペーサー		4	—
【3f】M4六角ナット		—	4

※黒文字と白文字の2種類同梱しています

メモページ

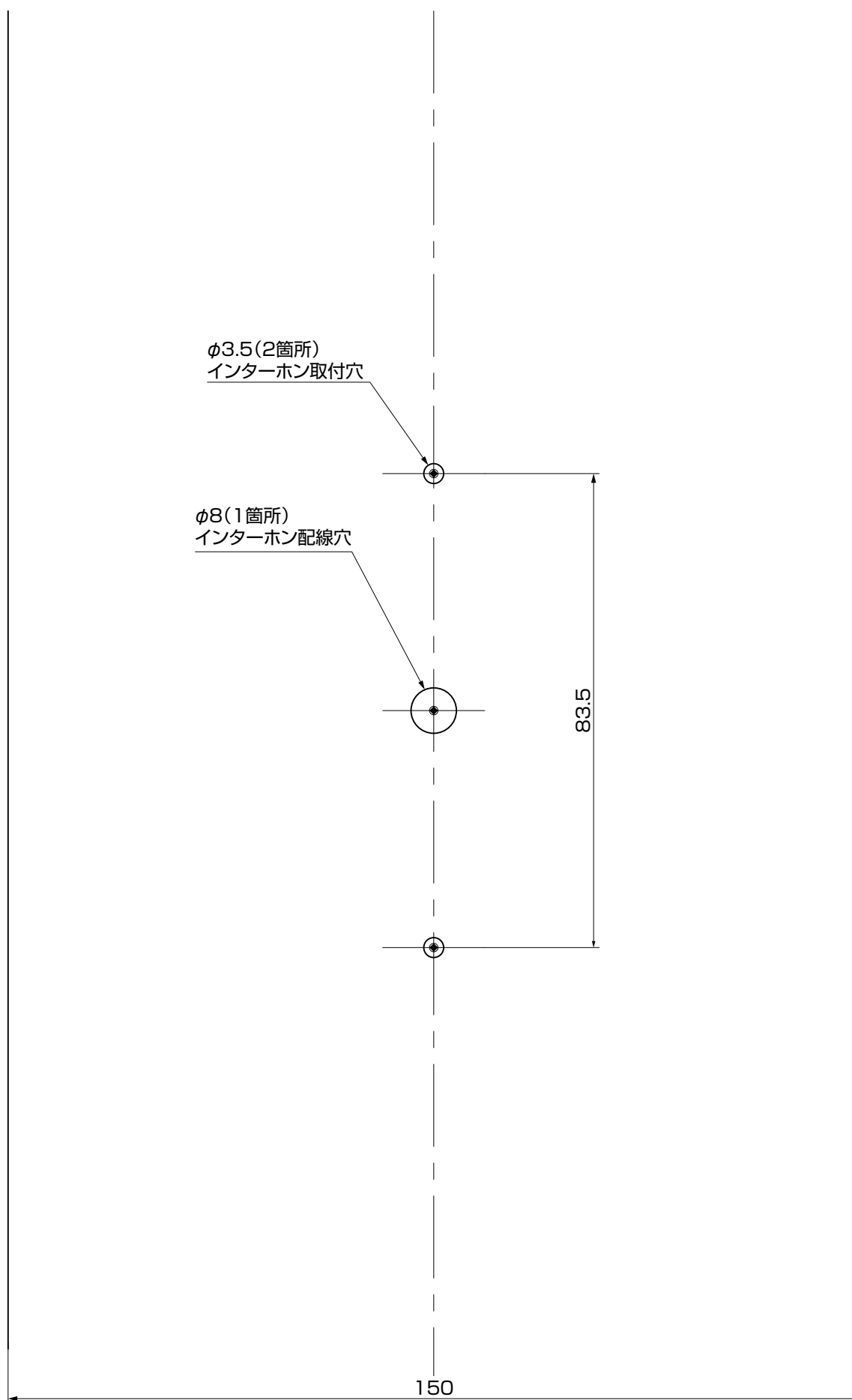
ポスト取付金具取付用

ポスト取付金具を取付ける際に、ポンチ等で印をつけ、穴加工してください。



インターホン取付用

インターホンを取付ける際に、ポンチ等で印をつけ、穴加工してください。



ガラスサイン、ステンレスサイン取付用

ガラスサイン、ステンレスサインを取付ける際に、ポンチ等で印をつけ、穴加工してください。

